

**募集要項（2026年度）一般社団法人 日本ガス協会**  
**「ガス体エネルギーのカーボンニュートラル化と事業高度化に資する研究助成制度」**

## 1. 研究助成制度の目的

日本の産業・民生部門のエネルギー消費量の約6割は熱需要であり、熱を供給するガス体エネルギーのカーボンニュートラル化と都市ガス事業のさらなる高度化が期待できる優れた研究を支援することを目的としています。

## 2. 研究助成の趣旨

近年、都市ガス事業を取り巻く環境は大きく変化しており、カーボンニュートラル社会の実現、エネルギーセキュリティの確保といった社会的課題の解決に向け、革新的技術に繋がる基礎的研究への期待がますます高まっています。このような状況の中、産学が連携し、多様な分野での研究に取り組む重要性が一層増していると考えられます。日本ガス協会では、都市ガス事業の持続的発展を目指し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを推進しており、その一環として、都市ガス事業の発展を先導する可能性を秘めた革新的技術、ならびにそれを支える基礎的研究を支援するため、研究助成を行っています。

## 3. 研究助成概要

### （1）申請者の資格

- ・大学または機関に所属する若手研究者であり、常勤で所属機関に正式に雇用されている方。  
（日本に居住している方に限ります、国籍は問いません）
- ・営利企業等関係者は対象外
- ・年齢制限はありませんが、若手研究者の積極的応募を期待します。
- ・助成期間中、応募テーマに関する研究を継続できる方とします。

### （2）対象となる研究分野

#### ① カーボンニュートラル化に資する研究分野（基礎研究）

対象エネルギー：e-methane（合成メタン）、水素、バイオガスなど

- （ア）メタン合成技術（触媒、サバティエ、バイオリアクター、共電解、光還元等）、
- （イ）CO<sub>2</sub>分離・回収技術、（ウ）CO<sub>2</sub>利用技術、（エ）水素製造・利用技術

#### ② ガス事業高度化に資する研究分野（応用研究）

対象エネルギー：天然ガス、e-methane（合成メタン）、水素、バイオガスなど

##### ②-1：利用技術に関する研究分野

- （ア）コージェネ技術（燃料電池含む）、（イ）燃焼技術、
- （ウ）排熱利用技術、（エ）空調技術

##### ②-2：エネルギーシステムに関する研究分野

- （ア）エネルギーの地産地消、（イ）分散型電源を活用したスマートエネルギーネットワーク
- （ウ）エネルギー貯蔵

##### ②-3：製造、供給におけるエネルギーセキュリティ、レジリエンスに関する研究分野

- （ア）防災・減災技術、（イ）災害シミュレーション

### ③その他

①～②以外でガスエネルギーに関するもの

### (3) 助成金額

・100万円/件

※2年助成の場合は200万円/件（100万円/年×2回）。

### (4) 助成金の使途

・真に研究に必要な資金であれば、特に使途の制限はありません。

### (5) 助成期間

・2026年10月～2027年9月末（原則1年間、最大2年間）

#### <留意点と補足>

##### ① 助成期間の選択について

・助成期間は原則1年間とする。2年間の研究助成を希望する場合は、申請書の「希望する助成期間」の項目にて2年間を選択すること。

・2年助成を希望する場合でも、1年助成との併願扱いとなる。2年助成対象とならなかった場合であっても、1年助成として採択される可能性がある。

##### ② 申請書記載における注意事項（2年助成希望の場合）

申請書の「現状技術レベルと助成後の目標技術レベル」には、以下の内容を記載すること。

・1年助成に関する記載内容

・2年助成を希望する理由

・1年目のマイルストーン（中間目標）

また、「上記目標までの研究計画・方法の概要」には、1年助成の内容に加え、2年間を通じた研究計画および方法についても記載すること。

##### ③ 2年助成の選考について

2年助成は、当協会の選考委員による審査の結果、適格と判断された場合に限り実施される。

なお、2年助成として採択された場合であっても、研究進捗に大幅な遅れが生じた場合や、1年目のマイルストーン達成が明らかに困難と判断される場合には、2年目以降の助成を中止することがある。

##### ④ その他

助成を開始した場合であっても、助成期間の末日まで助成の継続を確約するものではない。

### (6) 助成対象者の責務

#### ① 進捗状況の中間報告

実施時期：2027年4～6月頃（予定）

内容：助成テーマに関する進捗状況等を報告

#### ② 報告会での成果発表

実施時期：2027年11月頃（予定）

内容：助成テーマに関する研究成果を発表

#### ③ 成果報告書および概要の提出

提出期限：2027年10月末（予定）

会計報告書：書式指定なし

成果報告書：Word形式、5ページ程度

研究成果の概要：PPT形式、2ページ程度（当協会ホームページでの紹介用）

#### ④ 研究成果の発表に関するお願い

委員会、学会、学術雑誌、出版、論文等で研究成果を発表いただく場合があります。

本助成制度を活用して得られた成果を論文や学会で発表する際には、本助成制度名を明記してください。

<留意点と補足>

##### ① 中間報告

目的：中間報告は、研究テーマの進捗状況を確認するとともに、成果報告時に織り込んでいただきたい内容について意見交換を行うことを目的とする。また、必要に応じて当協会より、都市ガス業界の取り組みについて説明する。

開催場所：助成対象者の研究拠点

参加者：助成対象者（報告者）、関係都市ガス事業者、当協会職員

##### 【2年助成者の場合】

1年目：1年目のマイルストーン（中間目標）に対する進捗や目標の達成見込みについて報告すること。

2年目：通常の中間報告（上記目的に基づく報告）を行うこと。

##### ② 報告会

開催場所：都内（予定）

報告会参加者：助成対象者（報告者）、本研究助成制度の選考委員、関係都市ガス事業者、当協会職員

参加費用：参加に伴う交通費等は助成金より支出すること。

##### 【2年助成者の場合】

1年目：1年間の達成状況や進捗状況についてご報告すること。

2年目：最終成果の報告を発表していただきます。

#### （7）助成金の交付時期

- ・助成対象者の決定後、速やかに交付いたします。

<留意点と補足>

- ・手続きの都合上、助成決定後、助成開始までに2ヶ月以上を要する場合がある。
- ・研究テーマへの影響が想定される場合は、中間報告の日程等について、個別に相談のうえ調整することとする。

### 3. 選考について

#### （1）選考方法

- ・当協会の選考委員が、申請書の内容に基づいて審査のうえ決定します。また、必要に応じて面談を行う場合があります。

#### （2）主な選考基準

- ・研究助成の趣旨と合致し助成するにふさわしいもの
- ・ガス事業に関する社会的課題への適合性

- ・技術革新性、独創性、新規性の高さ
- ・研究計画の妥当性

(3) 選考結果の通知

- ・2026年9月初旬に申請者へ通知します。

#### 4. 応募手続

(1) 応募方法

- ・当協会所定の申請書に必要事項を記入し、PDFデータを事務局（josei@gas.or.jp）まで電子メールでご提出ください。なお、ページ数の制限は設けておりませんが、研究テーマに関連する文献を除き、3ページ前後を目安としてください。

(3) 応募締切日

- ・2026年5月7日（木）

#### 5. その他

(1) 個人情報等の取扱いについて

- ・個人情報は選考など本助成制度で必要な際に利用致します。
- ・申請時に得た個人情報は、法令等の定めによる場合を除き、予め本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。
- ・本研究助成制度の履行の過程で知り得た業務上、技術上の情報等について、覚書にて守秘義務に関する合意をいただきます。

(2) 選考委員会での審査内容については、いかなるお問い合わせにも応じられません。

(3) 申請書は返却いたしません。

(4) 当協会の事業内容についてはホームページ（<https://www.gas.or.jp/gijutsu>）をご覧ください。

#### 【連絡先】

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-12

一般社団法人 日本ガス協会 普及部 技術開発グループ 研究助成制度担当

Tel : 03-3502-0113 Fax : 03-3502-3676

E-mail : josei@gas.or.jp